

府民公募型安心・安全整備事業審査委員会（京都市域） 開催結果

日 時 平成21年11月27日（金） 10:00～11:50
場 所 京都府公館 第5会議室
委 員 同志社大学政策学部教授 今川 晃（座長）
京都商工会議所産業振興部長 北富 洋二（代理出席 荻野まちづくり推進担当課長）
京都市建設局長 山崎 糸治（代理出席 石飛建設企画部担当課長）
京都府総務部長 太田 昇（代理出席 金谷副部長）
京都府建設交通部長 安藤 淳（代理出席 小泉京都土木事務所長）
京都府教育委員会管理課長 石田 斉
京都府警察本部交通規制課長 川村 猛

1 提案状況の報告について

応募状況（最終）について報告

- ・ 京都市域 320件（うち警察関係205件）
- ・ 府内全域 2,334件（うち警察関係582件）

2 事業実施報告について

府民提案型事業72件について審査し、技術審査結果のとおり28件について実施が
適当と認められた。また、市町村協働型事業4件について実施報告し、全件実施が適当
と認められた。

	府民公募型審査件数	市町村協働型実施報告
・ 総務部関係	2件（うち 0件実施）	0件
・ 文化環境部関係	8件（うち 3件実施）	0件
・ 建設交通部関係	2件（うち 0件実施）	0件
・ 警察関係	60件（うち25件実施）	4件

（※）文化環境部関係の2件、警察関係の3件については他の予算で実施。また、警
察関係の4件については実施済み。

3 委員の主な意見について

- ・ 信号機の視覚障害者用付加装置について、現在調整中のため「実施困難」とな
った提案に対する提案者への結果通知はどのように行うのか。
→今回は調整がつかないため実施困難と回答する。次年度以降、検討を進める。
- ・ 鴨川公園、嵐山公園のトイレ施設の整備について、公園全体で順次優先順位をつ
けていくということか。

→そのとおり。今回は事業の対象外としたが、古くなったものの改修時期に設置を検討したり、利用者数を考慮したりするなど計画的に進めていく。

- 提案者への結果通知の際、実施困難となったもので他事業での実施の可能性があるものは、事業のPRと考えると前向きな内容で丁寧にお返すこと。
- 府民ホールの照明の照度に関する提案は、安心・安全とは結びつかないのか？
→提案内容が「照明が暗くポスターが読みにくい」とあり、ポスターの掲示場所の変更で対応できると考えた。提案者へもその旨含めて結果通知を行う。
- 京都市として、普段から市内のパトロールや市民からの連絡を受けて道路の修理などを行っている。今回の事業を受け、提案箇所によっては道路管理者である市との調整も必要と考えている。今後とも協力していくのでよろしくお願いいたします。
- 本事業では、様々な危険箇所について、男女共同、景観、バリアフリーなど多角的な視点からの指摘があった。ぜひ今後の行政運営の参考にしていくように。
- 事業の成果がまとめれば報告する。